

関係者各位

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、海水の着色の報告を受け、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で3細胞/ml確認されました。また、コクロディニウム コンボルタムと呼ばれるプランクトンが最大657細胞/ml確認されました。当プランクトン1種単独による赤潮は、九州北部や三重県などにおいて発生したことがありますが、いずれも漁業被害は確認されておりません。しかし今後の細胞数の増加によっては、周囲の貧酸素化などを発生させる要因となる可能性もあります。そのため、海色や飼育魚の状態に注視してください。

また、麻痺性貝毒の原因種は確認されませんでした。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	コクロディニウム コンボルタム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)		
<b>宿毛湾中央①</b> 採水時間 14:29 透明度 - m	0.0	29.5	33.5	8.3	0	206
<b>宿毛湾中央②</b> 採水時間 14:37 透明度 - m	0.0	29.9	33.6	9.6	0	657
<b>シラハエ①</b> 採水時間 14:41 透明度 - m	0.0	29.6	33.7	8.5	0	94
<b>シラハエ②</b> 採水時間 14:43 透明度 - m	0.0	29.7	33.7	8.6	3	309
<b>ヒロウラ</b> 採水時間 14:48 透明度 - m	0.0	29.4	33.8	6.9	0	29